

## 安全データシート

作成日 2000年7月25日  
改定日 2016年3月1日  
(第10版)

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 作業衣専用洗剤WC-MC  
製品コード : 35100180

会社名 : 株式会社コスモビューティー  
住所 : 大阪市此花区島屋6丁目2番82号 ユニバーサル・シティ和幸ビル11階  
担当部門 : 研究部  
担当者 : 矢野 貴史  
電話番号 : (06)6460-3120  
FAX番号 : (06)6460-0052  
推奨用途及び  
使用上の制限 : 洗濯用粉末合成洗剤  
整理番号 : 35100180S10

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性(経口) 区分4  
: 急性毒性(経皮)  
: 急性毒性(吸入・蒸気)  
: 皮膚腐食性/刺激性 区分1  
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1  
: 呼吸器感作性  
: 皮膚感作性  
: 生殖細胞変異原性  
: 発がん性  
: 生殖毒性  
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3  
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
: 吸引性呼吸器有害性

環境に対する有害性 : 水生環境有害性(急性) 区分3  
: 水生環境有害性(長期間) 区分3  
: オゾン層への有害性

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

: **危険**  
: 飲み込むと有害  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
呼吸器への刺激のおそれ

(作業衣専用洗剤WC-MC, 株式会社コスモビューティー, 35100180S10, 2016年3月1日)

眠気やめまいのおそれ  
長期継続的影響により水生生物に有害

## 注意書き

## 〔安全対策〕

- : 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 粉じんまたはミストを吸入しないこと。
- 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 環境への放出を避けること。

## 〔応急措置〕

- : 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は医師に連絡すること。

## 〔保管〕

- : 施錠して保管すること。
- 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

## 〔廃棄〕

- : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

## 組成及び含有量

| 化学名又は一般名                     | 含有率(%) | 化管法 <sup>(1)</sup> | 化審法 <sup>(2)</sup> | 安衛法 <sup>(3)</sup> | CAS番号      |
|------------------------------|--------|--------------------|--------------------|--------------------|------------|
| 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム         | 15     | 第1種30              | (3)-1906           | —                  | 25155-30-0 |
| アルファオレフィンスルホン酸ナトリウム          | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
| ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(C12-15) | 1.0未満  | 第1種407*            | (7)-97             | —                  | 非公開        |
| ゼオライト                        | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
| 硫酸塩                          | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
| 炭酸塩                          | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
| ケイ酸塩                         | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
| 再付着防止剤                       | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
| 蛍光増白剤                        | 非公開    | —                  | 非公開                | —                  | 非公開        |
|                              |        |                    |                    |                    |            |

(1) 化学物質排出把握管理促進法 官報公示整理番号(平成21年10月1日施行)

(2) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

(3) 労働安全衛生法 第57条 施行令第18条第1号別表第9 (名称等を通知すべき危険物及び有害物) 政令番号(平成28年6月1日施行)

—: 該当しない

\*: 対象となる濃度下限値(裾切値)未満のため該当しない

## 4.応急措置

## 吸入した場合

- : 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

(作業衣専用洗剤WC-MC, 株式会社コスモビューティー, 35100180S10, 2016年3月1日)

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 目を擦らず直ちに清浄な水で15分間以上眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまでよく洗浄すること。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

## 5.火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。

## 6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具および緊急時措置 : 作業の際には保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。  
漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。  
真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

## 7.取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱いの都度、容器を密閉すること。  
眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
保護手袋及び保護眼鏡を着用すること。  
取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをすること。
- 注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取扱う。
- 安全取扱い注意事項 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- 保管
- 安全な保管条件 : 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。  
吸湿性があるので湿気を避け、涼しい場所で密封して保管すること。  
酸と一緒に保管しないこと。  
施錠して保管すること。  
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
- 容器包装材料 : 他の容器に移し替えて保管しないこと。

## 8.ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない

(作業衣専用洗剤WC-MC, 株式会社コスモビューティー, 35100180S10, 2016年3月1日)

#### 許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない  
ACGIH : 設定されていない

設備対策 : 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

#### 保護具

呼吸器の保護具 : 簡易防塵マスクを使用する。  
手の保護具 : ゴム製保護手袋を使用する。  
眼の保護具 : 保護眼鏡を使用する。  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を使用する。

### 9.物理的及び化学的性質

外観 : 白色粉末  
臭い : ほとんど無臭  
pH(1%水溶液) : 10.8(代表値)  
融点・凝固点 : データなし  
沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし  
引火点 : 引火性なし  
自然発火温度 : データなし  
燃焼性 : データなし  
燃焼又は  
爆発範囲 下限、上限 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
蒸発速度 : データなし  
比重(25℃) : データなし  
溶解性 : 水に溶解する。  
n-オクタノール／水分配係数 : データなし  
分解温度 : データなし  
粘度(25℃) : 該当しない

### 10.安定性及び反応性

安定性 : 通常の条件では安定。  
危険有害反応可能性 : 強酸化剤との接触を避ける。  
避けるべき条件 : 現在のところ有用な情報なし。  
混触危険物質 : ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意する。  
危険有害な分解生成物 : 現在のところ有用な情報なし。

### 11.有害性情報

#### 急性毒性

経口 : ▽直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは、ラットを用いた経口投与試験のLD50 438 mg/kg (RTECS (2006))。  
▽炭酸塩のラットのLD50 = 2800mg/kg、および4090mg/kg (SIDS (access on July 2008))はいずれもJISの分類基準の区分外に該当する(国連GHSでは区分5に該当)。

(作業衣専用洗剤WC-MC, 株式会社コスモビューティー, 35100180S10, 2016年3月1日)

|                      |   |
|----------------------|---|
|                      | ▽ケイ酸塩は、マウスのLD50値 1,200~1,700 mg/kg (SIDS (Access on May 2010)) に基づき、【区分4】。  |
|                      | ▽ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテルは、ラットを用いた経口投与試験のLD50 544mg/kg (アルキル基の炭素数14~15、エチレンオキシドの付加モル数11)、9,800mg/kg (アルキル基の炭素数10,12,14、エチレンオキシドの付加モル数2~7) (CERI・NITE有害性評価書 No.89(2005))のうち低い値 544 mg/kgから【区分4】。                   |
|                      | ▽以上のデータから、本製品としての急性経口毒性推定値(ATE)は1,000~2,000 mg/kgとなることから【区分4】とした。   |
| 皮膚腐食性/刺激性            | : ケイ酸塩は【区分1】に分類されており、含有率が5.0%以上であるため、【区分1】とした。  |
| 眼に対する重篤な損傷性<br>/眼刺激性 | : 炭酸塩、ケイ酸塩、ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテルはそれぞれ【区分1】に分類されており、合計含有率が3.0%以上であるため、【区分1】とした。   |
| 呼吸器感受性               | : 情報なし  |
| 又は皮膚感受性              |   |
| 生殖細胞変異原性             | : 情報なし  |
| 発がん性                 | : 情報なし  |
| 生殖毒性                 | : 情報なし  |
| 特定標的臓器毒性<br>(単回ばく露)  | : ケイ酸塩は【区分2】(神経系)に分類されているが、含有率が【区分2】のカットオフ値(10%)未満であるため、【区分2】には該当しない。炭酸塩は【区分3】(気道刺激性、麻酔作用)、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウムは【区分3】(気道刺激性)、ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテルは【区分3】(麻酔作用)に分類されており、合計含有率が20%以上であることから【区分3】(気道刺激性、麻酔作用)とした。 |
| 特定標的臓器毒性<br>(反復ばく露)  | : 情報なし  |
| 吸引力呼吸器有害性            | : 情報なし  |

## 12.環境影響情報

### 生態毒性

|              |  |
|--------------|--|
| 水生環境有害性(急性)  | : ▽ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテルは【区分1】に分類されているが、含有率が1.0%未満のため【区分1】には該当しない。また、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム、アルファオレフィンスルホン酸ナトリウムは【区分2】に分類されているが、【区分2】の判定基準「(毒性乗率M×10×区分1)+区分2>25%」には該当しないため、【区分2】にも該当しない。しかし、【区分3】の判定基準「(毒性乗率M×100×区分1)+(10×区分2)+区分3>25%」には該当するため【区分3】とした。 |
| 水生環境有害性(長期間) | : ▽ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテルは【区分1】に分類されているが、含有率が1.0%未満のため【区分1】および【区分2】には該当しない。しかし、【区分3】の判定基準「(毒性乗率M×100×区分1)+(10×区分2)+区分3>25%」には該当するため【区分3】とした。   |
| オゾン層への有害性    | : 情報なし   |

## 13.廃棄上の注意

### 残余廃棄物

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14.輸送上の注意

### 国際規制

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 国連分類 | : 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。 |
| 国連番号 | : 該当しない               |

(作業衣専用洗剤WC-MC, 株式会社コスモビューティー, 35100180S10, 2016年3月1日)

品名(国連輸送名) : 該当しない

#### 国内規制

陸上輸送 : 消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれ定められた輸送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められた輸送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
直射日光・高温多湿を避ける。

緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

### 15.適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 第1種指定化学物質 政令番号 第30号【直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)]15%  
(平成21年10月1日改正)

労働安全衛生法

危険物 : 非該当

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物 : 非該当  
(平成28年6月1日施行)

名称等を通知すべき危険物及び有害物 : 非該当  
(平成28年6月1日施行)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

### 16.その他の情報

#### 参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース(CHRIP)

厚生労働省 職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

#### 改訂情報

2000年7月25日(第1版) : 初版発行

2007年8月10日(第6版) : 社名変更による改訂

2007年11月27日(第7版) : 書式変更(JIS Z 7250 準拠)

2009年9月30日(第8版) : 化管法(PRTR法)改正による改訂

2009年10月8日(第9版) : GHS対応版へ改訂

2016年3月1日(第10版) : SDSへ改訂(JIS Z 7253 準拠)および住所変更

#### 記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。

記載内容の問合せ先 : 株式会社コスモビューティー 研究部  
電話番号 (06)6460-3120  
FAX番号 (06)6460-0052

---